



2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月9日

上場会社名 株式会社 スリーエフ
 コード番号 7544 URL <https://www.three-f.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 浩志
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括マネージャー (氏名) 六川 靖夫
 四半期報告書提出予定日 2020年7月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-651-2111

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	3,057	4.2	37		25		50	
2020年2月期第1四半期	3,192	10.6	111		124		44	

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 37百万円 (%) 2020年2月期第1四半期 126百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	6.69	
2020年2月期第1四半期	5.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	5,171	4,374	75.6
2020年2月期	5,271	4,621	75.5

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 3,908百万円 2020年2月期 3,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		3.00		3.00	6.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,600	0.7	150	57.5	200	47.1	0	100.0	0.00
通期	12,500	3.6	250	30.5	300	28.3	0	100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	7,707,095 株	2020年2月期	7,707,095 株
期末自己株式数	2021年2月期1Q	132,536 株	2020年2月期	132,536 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	7,574,559 株	2020年2月期1Q	7,574,695 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年5月31日)におけるわが国経済は、世界経済秩序の混乱期に新型コロナウイルスの感染拡大が拍車を掛けたことで、国内外の経済活動は未曾有の混乱に陥り、景気は急速に悪化し、極めて厳しい状況となっております。

小売業界におきましては、業態内外の競争が激化する中、人と物の移動制限と感染症対策による新しい行動ルールによりお客様の利用動向が大きく変化したことで、先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、ローソン・スリーエフへのブランド転換が完了し、この先の見通しにある程度の目処を付けることができるようになったことから、社内外の関係者間の目標共有と達成に向けた連携強化・創意を結集し続けるための道しるべとして、2021年2月期を初年度とする7ヶ年の中長期経営計画を策定いたしました。加盟店と同じ目線で一塊となって経営を推進していくために、中長期経営計画では、個店平均日販の継続的な向上を経営における最重要指標と定めており、短期的にはお客様の利用動向への変化対応を続けながら、目標達成に向けた取り組みを進めております。

当社グループ運営店舗の概況

[ローソン・スリーエフ]

株式会社エル・ティーエフが事業展開する「ローソン・スリーエフ」におきましては、3月以降の外出自粛要請に加え、4月の緊急事態宣言の発出・対象地域拡大により人々の移動が制限された影響で、店舗の立地特性によるお客様の利用動向の変化から個店ごとの売上偏差が拡大しましたが、全体としては業界平均と比較して日販の落ち込みを最小限に抑えることができました。

商品面におきましては、ローソン・スリーエフの特徴の一つである「青果」や「書籍」などが環境変化にマッチし、新たな来店動機と客単価の向上により販売は好調に推移しました。また、ブランド転換の際に冷凍冷蔵ケースを増設したことが奏功し、冷凍食品の売上増加に繋がりました。

加盟店の支援策としては、新型コロナウイルス感染症によるお客様の利用動向に合わせた品揃え変化への注力と社会的使命として期待される営業継続を後押しするために、個店ごとの状況に応じた特別支援金の支給を実施いたしました。

店舗開発におきましては、出店を行わず、4店舗の閉店を行った結果、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は347店舗となっております。なお、引き続き、ブランド転換後も収益改善が見込めない店舗のリロケートも推進してまいります。

[g o o z (グーツ)]

コンビニエンスストアに対するニーズの多様化に対応するため、当社が新型フォーマットとして事業展開する「g o o z (グーツ)」におきましては、3月以降の外出自粛要請に加え、4月の緊急事態宣言の発出・対象地域拡大により人々の移動が制限された影響で、パーキングエリア店舗を中心に極めて厳しい営業活動を余儀なくされました。

このような状況の中、ご家庭でも「グーツコーヒー」の味がお楽しみいただけるよう、店内で焙煎したコーヒー豆をお持ち帰り用に取り揃えることで環境変化に対応したほか、商業施設の休業や各種イベントの中止などで販売機会を失った地元企業の商品を当社の店舗で販売することで、地元企業の支援・フードロス削減にも協力してまいりました。

店舗開発におきましては、出店・閉店を行わず、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は3店舗となっております。

なお、現時点においては、パーキングエリア店舗の売上も回復基調にあります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業総収入は、30億57百万円(前年同期比4.2%減)となり、営業損失は37百万円(前年同四半期連結累計期間は営業利益1億11百万円)、経常損失は25百万円(前年同四半期連結累計期間は経常利益1億24百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は50百万円(前年同四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純利益44百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の財政状態につきましては、前連結会計年度と比較して総資産は1億円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。

負債につきましては、1億47百万円の増加となりました。これは主に未払金の増加等によるものであります。

純資産につきましては、2億47百万円の減少となりました。これは主に非支配株主持分、利益剰余金の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月9日に発表しました2021年2月期の連結業績予想について変更はございません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大による当社グループの事業活動に対する影響は、現時点においては想定内のものとなっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,011	3,831
商品	100	106
貯蔵品	0	0
未収入金	101	128
その他	9	15
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,223	4,081
固定資産		
有形固定資産		
土地	293	293
その他(純額)	280	321
有形固定資産合計	573	614
無形固定資産		
0	0	0
投資その他の資産		
敷金及び保証金	326	336
繰延税金資産	157	145
その他	102	104
貸倒引当金	△112	△110
投資その他の資産合計	474	475
固定資産合計	1,048	1,090
資産合計	5,271	5,171

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	83	67
未払金	297	464
未払法人税等	7	4
未払消費税等	88	35
預り金	14	18
賞与引当金	86	130
その他	14	20
流動負債合計	594	740
固定負債		
その他	55	56
固定負債合計	55	56
負債合計	649	797
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	5,814	5,814
利益剰余金	△1,855	△1,929
自己株式	△86	△86
株主資本合計	3,972	3,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	9
その他の包括利益累計額合計	8	9
非支配株主持分	640	465
純資産合計	4,621	4,374
負債純資産合計	5,271	5,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	2,239	2,159
その他の営業収入	11	13
営業収入合計	2,250	2,173
売上高	941	884
営業総収入	3,192	3,057
売上原価	680	674
売上総利益	260	210
営業総利益	2,511	2,383
販売費及び一般管理費	2,400	2,420
営業利益又は営業損失(△)	111	△37
営業外収益		
受取利息	1	1
受取賃貸料	2	2
受取負担金	6	6
その他	3	0
営業外収益合計	13	11
経常利益又は経常損失(△)	124	△25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	124	△25
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等調整額	-	12
法人税等合計	1	13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	123	△38
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	11
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	44	△50

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	123	△38
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	1
その他の包括利益合計	2	1
四半期包括利益	126	△37
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46	△49
非支配株主に係る四半期包括利益	79	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。